

#### IV. 平成30年度前期 岸和田サテライト開講授業

##### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	マクロ経済学特殊問題 (Applied Macroeconomics Special Issues)		
単位数	2	授業形態	演習
担当教員	荒井 信幸		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間 ※240分×6回 (合計90分間の 休憩含む)	第1回 4月21日(出) 13:00~17:00	第4回 6月16日(出) 13:00~17:00	
	第2回 5月19日(出) 13:00~17:00	第5回 6月30日(出) 13:00~17:00	
	第3回 6月2日(出) 13:00~17:00	第6回 7月14日(出) 13:00~17:00	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b> 主として日米の政府機関で作られている最新のマクロ統計や分析論文を、読み意見交換することで、経済動向への理解を深めます。自ら経済データを収集、処理してレポートを作成することで、新たな発見をする面白さを知って頂きます。</p> <p><b>【授業計画】</b> 第1回 インTRODクシヨN。主たるマクロ統計と作成主体。米国のEconomic Report of the President 2018を読み込み、米国経済の現状と課題についてディスカッション 第2回 米国のEconomic Indicatorsと内閣府「月例経済報告」、日銀「金融経済月報」を読み込み、日米経済の最近の状況についてディスカッション 第3回 テキスト第2章(総生産と所得)、第3章(生産と成長)を中心に、日米の最新経済指標を読み込み、ディスカッション 第4回 テキスト第4章(投資と資本支出)、第5章(雇用と失業)を中心に、日米の最新経済指標を読み込み、ディスカッション 第5回 テキスト第6章(支出、利益、期待)、第7章(物価、通貨、金利)を中心に、日米の最新経済指標を読み込み、ディスカッション 第6回 レポート報告。ディスカッション。</p> <p><b>【到達目標】</b> マクロ経済統計や分析論文を通じて、データの背景にある理論や経済現象を理解し、自分で最新のデータを収集、分析できる。分析結果を発表し、報告書を作成することができる。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> レポート報告、クラスディスカッションへの貢献などにより総合的に評価する。</p> <p><b>【教科書】</b> クレイトン他著(2011)「アメリカ経済がわかる「経済指標」の読み方(原著第7版)」(マグロウヒル・エデュケーション)</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b> CEA, Economic Report of the President, Economic Indicators BEA, Survey of Current Business, BLS, Monthly Labor Review,</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b> 授業は資料の輪読やディスカッションを中心に行います。主体的に取り組むことを前提としていますので、積極的な参加を期待します。教科書はあらかじめ購入しておいて下さい。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b> 第1回目の授業で詳しいシラバスを配布し、授業の進め方について説明しますので、必ず出席してください。</p> <p><b>【授業時間外学習についての指示】</b> シラバスで示されたテーマについて、テキストの関連ページを読み、関連するウェブサイトを開き、最新の経済データに触れてきて下さい。講義をもとに、自分で経済データを入力し、グラフや表を作成してみてください。</p>			